

血管造影室における透視技術とそれにかかわる放射線被ばく量の観察研究

1. 研究対象

2008年以降、当院でカテーテル治療（冠動脈治療・不整脈治療・下肢動脈治療など）を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

心血管疾患に対する考え方は以前と異なり、マスコミなどを通して、重要性が社会的理解を得てきたと思われています。一方で、心血管治療は放射線を用いた診断治療です。カテーテル治療はもちろん、CTやシンチグラフィなど、放射線を用いた診断・治療につきましては、被ばく量が問題となります。治療技術の進歩により、一人の患者さんが複数の放射線を使用した検査・治療を受けることがあり、一人当たりの放射線被ばく量が多くなり、問題となっております。

我々の施設では、診断・治療の正確性を担保しながら、より被ばく量の少なくなる方法を模索しております。これらの正確性を担保しながら、より低侵襲な治療を目標としております。そこで、われわれの行っているカテーテル室における放射線透視の放射線量が本当に減少しているのか、視認性が低下していないか、治療の妨げになっていないのかなど、きちんとした検証する必要があります。

本研究の目的としては、我々のカテーテル室における放射線透視技術の科学的検証です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者様の基礎情報、治療方法、治療歴、治療にかかわった放射線量

4. 試料・情報の保存

循環器センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

一宮市立市民病院 循環器センター長 志水清和

一宮市立市民病院 循環器内科 梅本紀夫

6. お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問合せください。ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができるので、お申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いることについて、患者さんもしくは患者さんの代理の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先

一宮市立市民病院 循環器内科
〒491-8558 一宮市文京 2-2-22
Tel 0586-71-1911 担当 梅本紀夫